

第 27 期第 6 回東大和市立公民館運営審議会 会議要録

- 1 日 時 令和 6 年 2 月 15 日(木) 午後 2 時～4 時
- 2 場 所 東大和市立中央公民館 301 学習室
- 3 委 員 (出席者)佐々木会長、増本副会長、浜田委員、津嶋委員、若野委員、相澤委員、新井委員、橋本委員
(欠席者)岩崎委員、豊田委員、香野委員
- 4 事務局 (出席者)伊藤中央公民館長、富田事業係長、内藤南街公民館長、森田狭山公民館長
宮田蔵敷公民館長、國森上北台公民館長

5 傍聴者 1 人

6 次 第 (1)審議事項

- ①公民館運営審議会ハンドブックについて
- ②次年度公民館の重点目標について
- ③次年度公民館運営審議会定例会の日程について

(2)報告事項

- ①東京都公民館研究大会の報告について

(3)意見交換

7 会議資料

- ・第27期第 6 回次第
- ・令和6年度東大和市公民館重点目標(案)
- ・令和6年度年間予定表(案)
- ・研修参加報告書(東京都公民館研究大会)
- ・こうみんかんだより1月1日号
- ・中公タイムス(中央)
- ・ハロー公民館(南街)
- ・こだまの森(上北台)
- ・まちづくり懇談会(南街)
- ・保育室体験講座(上北台)
- ・断捨離講座(上北台)
- ・とうきょうの地域教育 No.150

8 議事要旨

(1)審議事項

①公民館運営審議会ハンドブックについて

- ・表記の統一性について、25 ページの研修会の記録の元号表記のみとなっている開催日に西暦を併記し、分かりやすさを向上させるべきとの意見が出され、承認された。
- ・レイアウト調整について、3 ページの活動内容が詰まっている一方、4 ページに大きな空白があるため、3 ページの行間を調整し、一部を 4 ページに送ることで、全体の可読性を高める提案がなされ、承認された。
- ・発行者情報の明記について、本ハンドブックが審議会だけでなく事務局の多大な協力のもとで作成された経緯を踏まえ、奥付に発行者と編集協力者を明記すべきとの意見が出た。「発行：東大和市立公民館運営審議会」「編集・協力：東大和市立公民館」と記載することで合意した。

・引用箇所の修正について、8 から 9 ページにわたる「寺中構想」に関する引用部分について、注釈(※)が構想そのものではなく人物名にかかっているように見える点、また引用範囲を示す囲みが一行足りない点が指摘された。注釈の対象を「寺中構想」に修正し、引用範囲を正しく囲むことで合意した。

・見出しの追加について、27 ページ以降の添付資料に対し、目次と対応する添付資料資料 1、添付資料資料 2 といった見出しを各ページの冒頭に追加し、資料としての構成を明確にすることが提案され、承認された。

(審議の結果)

指摘事項を事務局で修正し、完成版として印刷・発行することを全委員一致で決定した。

②次年度公民館の重点目標について

事務局から、①新型コロナウイルス関連項目の削除、②答申に基づき予算化が進む Wi-Fi 整備を踏まえた「インターネット環境を活用した学習の推進」項目の新設、という 2 点の変更が提案された。

委員から、これに対し、「今後の新たな感染症や災害に備え、包括的な危機管理項目を残すべきでは」との意見が出された。

事務局および委員から、災害対応は市全体の防災計画の中で対応されるべきもので、公民館独自の運営目標とは性質が異なる、必要に応じて市全体の動きとして対応するため、重点目標に明記しなくても問題ないとの見解が示された。

また、「公民館重点目標」というタイトルが広範すぎるため、「運営の重点目標」などと補足してはどうかとの提案もあったが、今回は従来通りのタイトルで進めることとなった。

(審議の結果)

事務局が提案した、重点目標案が承認された。また、Wi-Fi 整備に関する予算は市議会での議決を経て正式決定となるため、議決後に本目標の案を外し、正式な重点目標として施行することとなった。

③次年度公民館運営審議会定例会の日程について

事務局から、令和 6 年度の定例会日程(第 8 回～第 13 回)が提示された。6 月開始で、原則木曜日開催となることとなった。

(審議の結果)

提示された日程案を全委員で確認し、承認された。

(2)報告事項

①東京都公民館研究大会の報告について

東京都公民館研究大会に参加した委員から報告があった。

(委員からの報告)

・東京都公民館連絡協議会の会議において、公民館の利用に関してメリット・デメリットが話題になることがある。しかし、そうした議論を聞く中で、「デメリットを嘆くのではなく、自ら工夫してメリットに変えていく主体的な姿勢が重要ではないか」と感じた。

・基調講演は国分寺市本多公民館から Zoom で配信され、国立市の公民館活動をテーマとした「課題別集会」に参加した。その内容としては、国立市が実践する 3 つの先進事例(グッドプラクティス)の報告があり、事例としては、リハビリカレッジ、中高生の学習支援、障害者の青年教室、NHK 学園の学習場所提供など、多様な市民(子育て世代、中高生、高齢者、障害者等)を対象とした活動であった。また、事例報告後、グループに分かれ、各参加者が自身の活動における「グッドプラクティス」を共有するワークショップを行った。

感想として、参加者が自身の経験を語る場面では、話したい内容を多く持っている人が多く、例年以上に大変盛り上がり、有意義な情報交換の場となった。国立市の先進的な取り組みは、他の市にとって非常に参考になる内容であった。

・「東京都公民館連絡協議会の今後のあり方」をテーマとした「第2 課題別集会」に参加した。当日、助言者として参加予定だった都庁の社会教育主事が急遽欠席となってしまい、企画運営側が混乱する事態となった。本来は都庁の見解を踏まえて議論を深める予定だったが、それが不可能になり、結果として、グループによって議論の深さに差が生じ、全体での十分な情報共有も時間不足でできなかった。議論の中では「東京都公民館連絡協議会の具体的な活動内容が分かりづらい」「加盟市が減少し、人員不足で運営が多忙を極めている」といった現場の課題が共有されたが、具体的な解決策を見出すには至らなかった。助言者不在という不測の事態により、テーマに対する議論を十分に深めることができなかった点が、今後の課題として残った。この経験から、今後の東大和市での研修企画においては、講師選定や不測の事態への備えの重要性を再認識した。

(3)意見交換会「公民館に期待すること・公民館の課題」

研修会中止の代替として、2 グループに分かれて自由な意見交換を実施した。出された意見は多岐にわたったが、主に以下のテーマに集約された。

- ・施設・設備(ハード面)について、建物の老朽化対策と計画的な改修が必要ではないか。バリアフリー化(エレベーター設置など)の推進が必要ではないか。現代のニーズに合わせた設備(Wi-Fi、充電スポット)の整備が必要ではないか。整理整頓や美化による快適な環境づくりが必要ではないか。
- ・事業・運営(ソフト面)について、利用者層の高齢化が進む一方、若者や働く世代、子育て世代など新規利用者の開拓が急務ではないか。地域のハブとして、多世代が交流できる「居場所」「オアシス」としての機能強化が必要ではないか。利用者と公民館の連携強化(例:利用者連絡会との関係)が必要ではないか。デジタル化への対応(オンライン申込システムの導入など)が必要ではないか。
- ・職員について、専門性を持った職員の配置と継続的な勤務体制への期待を求める。利用者に対するコミュニケーション能力と親しみやすい対応の重要性が必要ではないか。

各グループで出された意見は模造紙に集約された。この内容は、後日、延期となった研修会の講師(伊東先生)に資料として提供し、より実践的な研修内容を構築するための一助とすることが確認された。

次回会議予定: 令和6年5月9日(木)午後2時～ 中央公民館 301 学習室